SEC CARBON

第106期
中間報告書

2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日

SECカーボン株式会社

証券コード：5304

株主の皆様へ



代表取締役社長

中島　耕

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社は2025年9月30日をもちまして、第106期事業年度中間期（2025年4月1日～2025年9月30日）の決算を行いましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

当中間期の世界経済は、一部地域に弱さが見られ、景気持ち直しの動きが鈍化しています。また、世界的な金融政策引締めに伴う経済の減速懸念、ウクライナや中東地域における地政学的リスク、米国の通商政策による影響等があり、先行きの経済見通しについては、依然として不透明な状況が継続しました。

当社事業領域における炭素製品市場は、昔日より好不況の波が激しい環境ではありますが、近年は、その振れ幅がさらに大きくなっております。

人造黒鉛電極では、アンチダンピング関税措置が発動し、中国製品の輸入は減少しつつも第三国を経由した日本国内への流入は依然続いております。また国内粗鋼生産低迷の長期化に加え、資材・原燃料等の価格高騰や人手不足により大型建設プロジェクトが停滞していることからも、人造黒鉛電極の需要回復には、この先時間を要する状況も覚悟しなければなりません。

アルミニウム製錬用カソードブロックにおいても中国製品との競合は激しさを増しております。当社製品の技術や品質分野での優位性は変わらないものの、価格競争は企業体力を徐々に消耗させます。

当社は、これまでも幾多の困難を乗り越えてきましたが、今一度、当社の置かれた状況を分析し、いかなる事業環境にあっても、その変化に順応できる経営体質強化に向けた取り組みを加速させてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月

事業の概況 (2025年4月1日～2025年9月30日)

●当中間期の事業の概況

当中間期の世界経済は、一部地域に弱さが見られ、景気持ち直しの動きが鈍化しています。また、世界的な金融政策引締めに伴う経済の減速懸念、ウクライナや中東地域における地政学的リスク、米国の通商政策による影響等があり、先行きの経済見通しについては、依然として不透明な状況が継続しました。

我が国の経済においては、景気は、雇用・所得環境の改善等により緩やかに回復している一方、消費者物価の上昇による個人消費の足踏み等により下振れる懸念が高まっています。

このような状況下、当社グループでは、持続的成長に向けて成長投資、品質向上、製品の拡販等の経営体質強化に取り組んでまいりました。

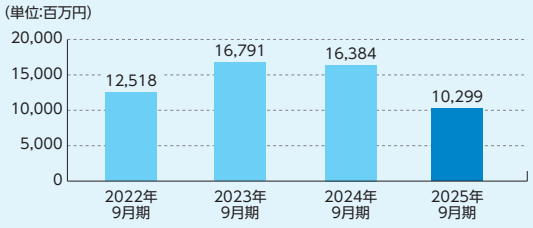
当中間期では、炭素製品全般において販売が減少しました。特にアルミニウム製錬用カソードブロックにおいては、取引先の在庫調整等の影響で、販売数量は大幅に減少しました。その結果、売上高は102億９千９百万円となり、前年同期に比べて37.1％の減収となりました。損益面に関しましても、販売数量減少の影響が大きく減益となりました。

その結果、営業利益は15億８千万円（前年同期比65.5％減）、経常利益は22億８千４百万円（前年同期比52.6％減）、親会社株主に帰属する中間純利益は16億３千４百万円（前年同期比54.1％減）となりました。

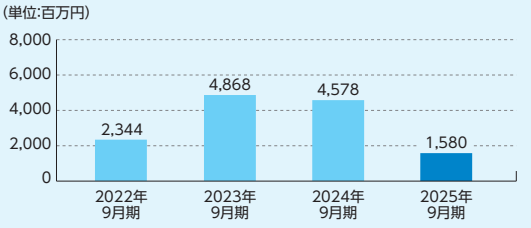
なお、当社グループは炭素製品の製造・販売を主な事業とする単一セグメントでありますが、当中間期における製品別の売上高については、次のとおりであります。

連結財務ハイライト

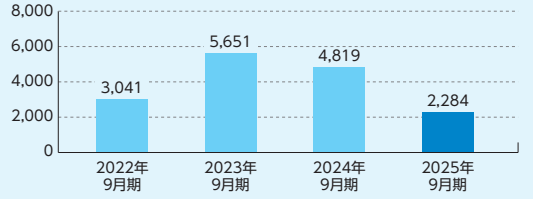
●連結売上高



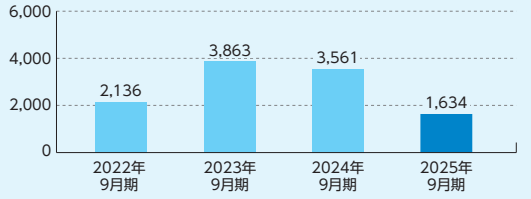
●営業利益



●経常利益



●親会社株主に帰属する中間純利益



●各製品別売上高の概況

・アルミニウム製錬用カソードブロック

アルミニウム製錬会社における更新需要の鈍化およびカソードブロックの在庫調整の影響により、販売数量が減少しました。その結果、売上高は66億４千８百万円となり、前年同期に比べて45.1％の減収となりました。

なお、在庫調整は下期にかけて解消される見通しであり、下期以降は販売回復を見込んでおります。

・人造黒鉛電極

国内外において粗鋼生産が低調に推移しており、販売数量は減少しました。その結果、売上高は20億１千７百万円となり、前年同期に比べて4.2％の減収となりました。

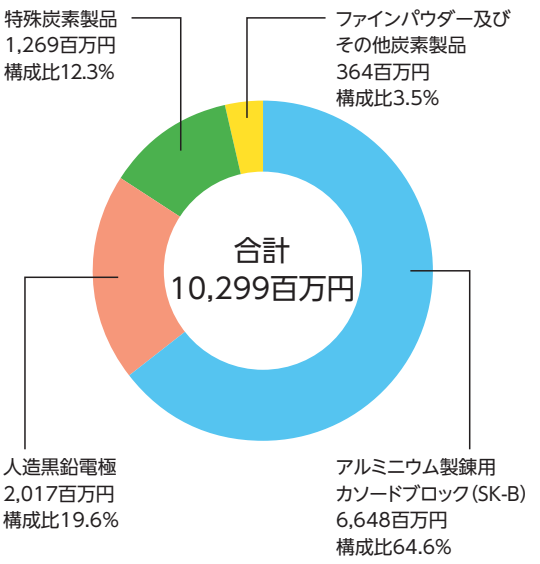
・特殊炭素製品

熱処理炉向けおよび非鉄金属関連向け等の需要減により販売数量が減少しました。その結果、売上高は12億６千９百万円となり、前年同期に比べて22.9％の減収となりました。

・ファインパウダー及びその他炭素製品

モーターブラシ向け等での需要減によりファインパウダーの販売数量が減少しました。その結果、売上高は３億６千４百万円となり、前年同期に比べて30.8％の減収となりました。

当中間期連結売上高構成比



●通期の見通し

通期の見通しにつきましては、アルミニウム製錬用カソードブロックの下期販売は、上期と比較し一定の回復を見込むものの、長引く在庫調整の影響でその回復が想定より時間を要しております。また、人造黒鉛電極の販売についても低調な粗鋼生産の影響を引き続き受ける見込みであり、売上高は前回発表予想を下回る見通しです。一方、為替レートは当初の想定より円安に推移することを見込み、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については前回発表予想と同程度の水準を見込んでおります。

これにより、当社グループにおける通期の業績予想は、連結売上266億円、営業利益41億円、経常利益53億円、親会社株主に帰属する当期純利益36億円を見込んでおります。

配当について

●配当方針

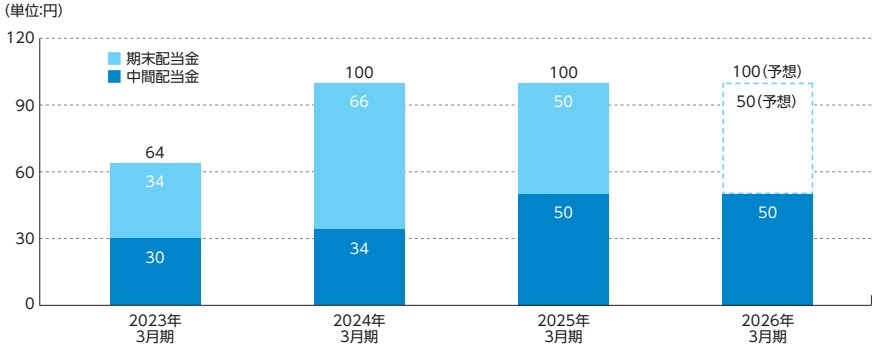
当社は、中長期的な企業価値の向上を図るべく経営基盤の強化を進めるとともに株主の皆様に対する永続的かつ安定的な利益還元を経営の最重要課題と考えております。剰余金の配当につきましては、収益性の向上と財務の健全性を図りつつ、連結配当性向30%を目安にできる限り安定的に実施してまいります。

●当期配当

配当金につきまして、株主の皆様のご支援に報いるため、上記方針に従い次のとおりとさせていただきました。
なお、期末につきましては確定次第お知らせいたします。

1）中間　1株当たり50円
2）期末　1株当たり50円（予想）

●配当金の推移



※2024年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。
そのため、2023年3月期の期首に株式分割を行われたと仮定して1株当たり配当金を記載しております。

トピックス

日本電極株式会社への資本参加

当社は、９月17日に日本電極株式会社（以下、日本電極）の発行済株式の20%を取得する契約を締結いたしました。

今回の資本参加は、急速に変化する市場環境および多様化する顧客ニーズに対応するため、アルミニウム製錬用カソードブロック・特殊炭素製品分野での協業ならびに日本電極が保有する連続黒鉛化炉を活用した特殊炭素製品・ファインパウダー分野での新規事業開発を主な目的とするものです。

契約締結にあたり、日本軽金属株式会社本社（東京都）において、日本電極および株主各社の関係者が集まり、今後の協業体制の強化とシナジー創出に向けた意思を確認いたしました。

今後、当社と日本電極は、両社の持つ強みを生かしつつ、それぞれの製品分野における拡販に向けて取り組んでまいります。



（写真中央：中島社長/
左から４人目：長谷川取締役/
３人目：岩井取締役）

天皇賜杯第80回全日本軟式野球大会ENEOSトーナメント準優勝

当社軟式野球部（以下、野球部）は、９月５日から秋田県にて開催された「天皇賜杯第80回全日本軟式野球大会ENEOSトーナメント」において、準優勝の成績を収めました。

本大会は軟式野球においてもっともレベルの高い権威のある大会であり、野球部は初戦から接戦を制し、チーム一丸となった粘り強い戦いを見せ、第70回大会以来となる決勝戦に進出しました。

決勝戦では強豪大阪シティ信用金庫と接戦の末、０対２で敗れましたが、準優勝という輝かしい成果を挙げました。これはチームのモットーである「会社や地元関係者、そして家族に支えられていることに感謝する気持ちを忘れず、日々練習に励む」ことの結果であり、粘り強く平常心で戦う信条とチームワークが野球の魅力や感動を広く発信してくれるものでした。

今後も野球をはじめとするスポーツを通じ、地域社会への貢献に取り組んでまいります。



(c)全日本軟式野球連盟　提供

会社概要（2025年9月30日現在）

商　　号	SECカーボン株式会社
設　　立	1934年10月23日
資 本 金	5,913,872,864円
発行済株式総数	20,694,340株
主要製品	アルミニウム製錬用カソードブロック(SK-B) 人造黒鉛電極 特殊炭素製品 ファインパウダー及びその他炭素製品
ホームページ	https://sec-carbon.com/

役員（2025年9月30日現在）

代表取締役会長	大谷　民明
代表取締役社長	中島　耕
取締役	長谷川　和重
取締役	田畑　洋
取締役	岩井　清一
社外取締役	大谷　壽一
社外取締役	森　千春
常勤監査役	井上　雅文
常勤監査役	森下　宏也
社外監査役	岡　和彦
社外監査役	片岡　万枝

（注）大谷壽一氏、森　千春氏、岡　和彦氏及び片岡万枝氏は、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

事業所

本　　社
〒661-0976
兵庫県尼崎市潮江一丁目2番6号
JRE尼崎フロントビル6階
TEL (06) 6491-8600

東京事務所
〒103-0027
東京都中央区日本橋三丁目3番11号
第一中央ビル6階
TEL (03) 3279-0700

名古屋営業所
〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内一丁目17番19号
キリックス丸の内ビル8階
TEL (052) 231-5765

京都工場
〒620-0853
京都府福知山市長田野町三丁目26番地
TEL (0773) 27-2411

岡山工場
〒704-8147
岡山県岡山市東区正儀4700番地の2
TEL (086) 946-1500



京都工場（福知山市）
50万㎡の敷地を有する世界トップクラスの一貫生産工場

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月開催	
基準日	定時株主総会	3月31日
	剰余金の配当　期末	3月31日
	中間	9月30日
単元株式数	100株	
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 0120-094-777（通話料無料）	
公告方法	電子公告によります。ただし、やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス https://sec-carbon.com/	
証券コード	5304	

株式に関するお問い合わせ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
お電話 お問い合わせ先		0120-094-777（通話料無料） （平日9:00～17:00）
各種手続き （住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		インターネットホームページ https://www.tr.mufg.jp/daikou/
未払配当金のお支払	株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社	

SECカーボン株式会社

VEGETABLE OIL INK

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。